

令和6年度 珠洲市立蛸島小学校 後期学力向上プラン

年間のゴールの姿

相手に分かりやすく伝わるように、自分の考えを明確にして、主体的に表現することができる。

1 授業づくり

(1) 現状と課題 (R)

児童の課題	現状と要因・根拠となるデータ
相手に分かりやすく伝えるための力が不十分である。	<p>[現状と要因]</p> <p>○普段の授業や研究授業で、つまずきに応じた複数の手立てを考え、実践することができた。</p> <p>○児童は場に応じた声で、主体的に「質問しよう」「感想や意見を言おう」という意識が向上した。</p> <p>△問い合わせた後、児童の考えが広がらない場面があった。</p> <p>→ねらい達成に向けて、適切なタイミング問い合わせや手立てを講じる必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6 中期：検証問題 67%，ノート検証 76%，アンケート 90% ・R6 4年石川県基礎学力調査の記述問題 国語 21 ①0% ②67%。 ・R6 5年石川県評価問題 国語 13 80% ・R6 6年全国学力調査質問紙 29 (強肯定 100%)

(2) 計画と実行 (P・D)

具体的な取組	評価項目	評価
・児童の「分からない」や「なんとなく」の考えを取り上げ、全体で共有し、問い合わせや対話を通して、ねらい達成のための手立てを講じ、考えを明確にさせる。	<p>実施検証「相手に分かりやすく伝わる表現をしている。」(90%) 「曖昧な考えを全体で共有し、手立てを講じる。」(100%) 「対話の中で質問や意見を述べている。」(90%)</p> <p>研究授業「相手に分かりやすく伝わる表現をしている。」(90%) 「曖昧な考えを全体で共有し、手立てを講じる。」(100%)</p> <p>児童アンケート「考えを聞いて、質問をしたり、意見や感想を言ったりすることができた。」(95%)</p> <p>全校検証問題「相手に分かりやすく伝わる表現をしている。」(80%)</p>	

(3) 検証と改善 (C・A)

月	評価方法（誰が、いつ）	結果	取組の成果○・課題▲
1	授業評価表（授業者 29日） 授業参観シート（21日） 特支（知的）のため、検証対象外	79%	○曖昧な考えを共有し、手立てを講じることで、ねらい達成に向けて、考えることにつながった。（→継続） ▲対話の中で質問や意見を通して、深まりが見られない場面があった。（→教師が例を示したり、児童の相手に伝わる表現全体に広めることを共通理解して継続）
2	授業評価表（授業者 2月20日3月14日） 授業参観シート（2月5日） 児童アンケート（3月3日） 検証テスト（3月3日） 教師アンケート（3月14日）		○ ▲
3			

取組の成果○・課題▲

○
▲

2 基盤づくり

目標	具体的な取組	評価
相手に分かりやすく伝わるように、場に応じた声の大きさで質問や意見、感想を言うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・集会や行事で、対話の場面を設定し、全体で意見を交流させる。 ・たこじまスピーカーの掲示をもとに指導する。 ・3月にアンケートを実施し、授業改善に生かす。 	

